

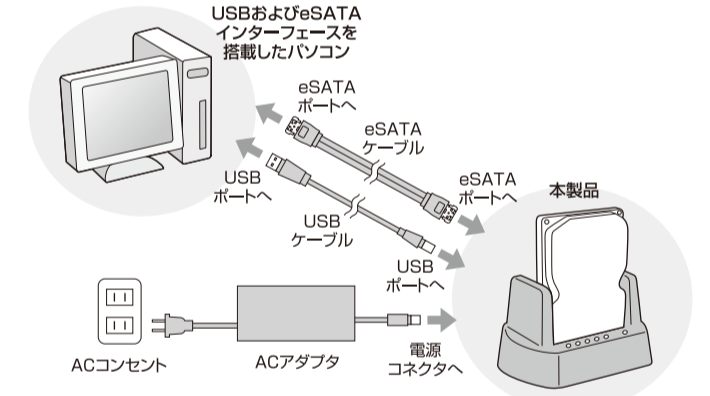
# MARSHAL クローン IDE HDDスタンド 2.5/3.5インチハードディスクスタンド MAL-2935SBK



## 取扱説明書 -Manual-

### パソコンと接続

ハードディスクを接続した本製品をパソコンに接続します。



※eSATAインターフェースで2台のHDDをご利用いただく場合は、ポートマルチブライヤ対応のeSATAホストインターフェースボードが必要になります。「ポートマルチブライヤ対応」でない場合DISK1とDISK2にHDDを同時に2台装着してもDISK1のHDDしか認識しません。DISK1またはDISK2にそれぞれ片方のみ装着した場合のHDDは認識します。

〈手順〉  
HDDを装着した本製品をパソコンに接続します。  
①付属のACアダプタを接続します。  
②付属のUSBケーブルまたは、eSATAケーブルを使ってパソコンと接続します。両方向時には使用できません。いずれかのケーブルでパソコンと接続してください。  
③パソコンを起動してから本製品の電源スイッチを入れてください。  
※新しいHDDを接続した場合は、ドライブのフォーマットが必要です。フォーマット方法をご覧ください。  
※eSATAケーブルで接続する場合は、パソコン側にeSATA端子が必要です。eSATAケーブルの抜き差しの方法は、ご利用のパソコンあるいはインターフェースボードの説明書を参照ください。

### はじめにお読みください

【安全上の注意を必ず守ってくださいよう、お読みください。】  
お手持ちの他人への危害や財産への損害を未然に防ぐため、本製品を安全にお使いいただく内容を含んでおりますので、必ずご確認ください。ご了承ください。

- ⚠警告**
- 本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンメーカーが提供している警告、注意表示を必ず守ってください。
  - 製品の分解、改造は行ってください。火災や感電の原因となります。
  - 線がでたり、異音や異臭がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。また、その他製品の異音が発生したらご使用をやめ、速やかに弊社サポートまでご連絡ください。
  - 電源コード、接続ケーブルはご自身の責任で、傷ついたり劣化がひどくなるとは保証できません。
  - 電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。シールド、発熱の原因となり火災、感電の恐れがあります。
  - 本体を濡らしたり、水気のある場所で使用しないでください。感電や火災、本製品の故障の原因となります。
- ⚠注意**
- 電源コンセントは、なるべく電源コンセントへ直接接続してください。また、長期使用しない場合は、コンセントを外してください。
  - 本製品を屋外や直射日光の当たる場所に設置しないでください。過熱による火災・故障の原因となります。
  - 接続端子に水や埃が溜まると、正常動作の妨げになります。定期的に清掃してください。
  - パワーアクセスランプが点滅している間は、電源スイッチをOFFしたり、パソコンをリセットしないでください。故障の原因につながり、データが消失する恐れがあります。
  - 本製品は修理業者の手配が必要です。修理時の電圧が異なると、ご使用できない、静電気を発生させ動作や故障の原因となります。

- 【注意事項】
- この製品は、ハードディスクが装着されておらず、電源が切れている状態での使用を想定していません。
  - HDDの回転速度を利用する用途には対応していません。HDDの回転速度が低下すると、動作が不安定になる場合があります。
  - ソフトウェアのインストールは、改良その他により予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。
  - 本製品は修理業者の手配が必要です。修理時の電圧が異なると、ご使用できない、静電気を発生させ動作や故障の原因となります。
  - 本製品は修理業者の手配が必要です。修理時の電圧が異なると、ご使用できない、静電気を発生させ動作や故障の原因となります。
  - 本製品は修理業者の手配が必要です。修理時の電圧が異なると、ご使用できない、静電気を発生させ動作や故障の原因となります。

### 目次

- はじめにお読みください
- 目次
- パッケージ内容の確認
- 本体各部の名称とたはらき
- クローンHDDの操作方法
- ハードディスクの接続
- 交換ボードの接続
- パソコンと接続
- 新しいHDDのフォーマット方法
- 接続確認
- 本製品のパソコンからの取り外し
- 付属（ハードディスク激安市場）
- 無償修理規定
- 保証書

### Windows XP

未割り当ての領域にパーティションを設定しフォーマットを行います。「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいパーティション」を選択して下さい。「新しいパーティションウィザード」が起動しますので、「次へ」をクリックして下さい。作成するパーティションの種類は、「拡張パーティション」を選択して次に進むハードディスクを複数のドライブとして使うときは「パーティションのサイズ(容量)」を変更して次に進むフォーマットのメニューが表示されたら内容を確認してフォーマットを行って下さい。残りの「未割り当て」部分が上記と同様の手順でパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。

### Windows Vista / Windows 7

未割り当ての領域にパーティションを設定しフォーマットを行います。「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックすると「新しいシンプルボリュームウィザード」が起動しますのでパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。ハードディスクを複数のドライブとして使うときは「シンプルボリュームサイズ」の数値を変更してパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。

### 接続確認

スタートメニューからドライブ表示が追加されたか確認してください。

### 本製品のパソコンからの取り外し

本製品のパソコンからの取り外しは、タスクバーのUSBアイコンをクリックしていただき「ハードウェアの安全な取り外し」を選択してから行ってください。切ってから、筐体を手で押さえ、静かに抜いてください。

どこよりも安い!! ハードディスクを格安で買おう!  
HDD専門店 ハードディスク激安市場  
その他PCパーツも多数品揃え!  
もちろんMARSHAL製品も取扱あります!  
ハードディスク激安市場 <http://shop.marshall-no1.jp/>

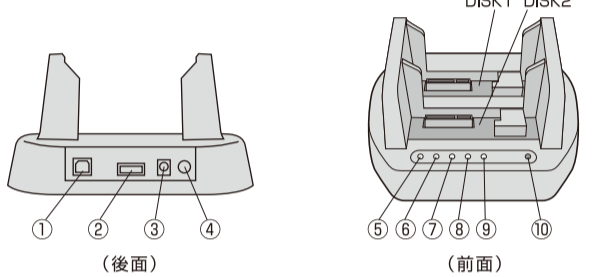
### パッケージ内容の確認

- 1) 本体(HDDスタンド)
- 2) IDE交換ボード x 1個
- 3) USBケーブル x 1本
- 4) eSATAケーブル x 1本
- 5) ACアダプタ x 1個
- 6) 簡易マニュアル

※ハードディスクは本製品には含まれていません。

### 本体各部の名称とたはらき

- ① USBポート (USB2.0) 付属のUSBケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続します。
- ② eSATAコネクタ (eSATA) 付属のeSATAケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続します。
- ③ 電源コネクタ (DC IN) 付属のACアダプタの電源プラグを差し込みます。本製品に付属のACアダプタ以外は使用しないでください。
- ④ 電源ボタン (POWER) ボタンを押すと本製品の電源が入ります。もう一度ボタンを押すと、電源が切れます。
- ⑤ パワーランプ (POWER) 本製品の電源が入っているときに点灯します。
- ⑥ HDDアクセスランプ (HDD DISK1) HDDにアクセスしているときに点滅します。コピーモードインジケータ25% クローンHDD作成時に点滅または点灯します。
- ⑦ HDDアクセスランプ (HDD DISK2) HDDにアクセスしているときに点滅します。コピーモードインジケータ50% クローンHDD作成時に点滅または点灯します。
- ⑧ コピーモードインジケータ75% コピーモードインジケータ100% クローンHDD作成時に点滅または点灯します。
- ⑨ コピーモードインジケータ100% クローンHDD作成時に点滅または点灯します。
- ⑩ ディレイロックコピーボタン クローンHDDを作成する際に使用します。



MARSHAL  
(後面) (前面)

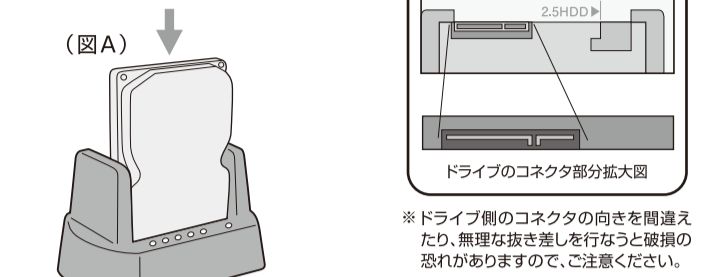
### クローンHDDの作成方法

DISK1に装着したHDDのファイルやデータをDISK2のHDDにコピーします。DISK2のHDDはDISK1のHDDと同じ容量かDISK1のHDDより大きな容量のHDDをお使い下さい。  
※DISK2のHDDに不具合がある場合はDISK1のHDDより容量が小さい場合COPYボタンは機能しません。(クローンHDDは作成できません)  
※DISK2に装着するHDDは 初期化およびフォーマットしていないもの、初期化してあるがフォーマットしていないもの(未割り当て状態)のあるはDISK1と同じフォーマットのもの、DISK1とは違うフォーマットのもの、パーティションで分割してあるもの等々どんな状態のHDDでも正常に動作するものであればクローンHDDが作成されます。  
クローンHDD領域が作成された残りの領域は「未割り当て」になりますから「DISKの管理」でフォーマットして活用します。  
※ケーブルをつけたままですと、コピーモードは動作しません。

1. [DISK1] にコピー元のHDDを入れてください。(データがすでに入っているHDDです)
  2. [DISK2] にコピー先のHDDを入れてください。
  3. 電源を入れるとパワーランプ、DISK1、DISK2のLEDが点灯します。
  4. コピーボタンを連続で2回押すと、コピーを開始いたします。連続で押さないでコピーモードは動作しません。コピーモードインジケータ25%が点滅を始めます。
  5. プールのインジケータがすべて点灯したらコピー完了です。コピーが完了したら、DISK2のHDDがDISK1より大きな容量の場合、残りの「未割り当て」領域を「DISKの管理」画面でフォーマットしてください。
  6. コピーが完了したら領域を切り、HDDを外したりしないでください。HDDの故障の原因となります。
- ※コピーの途中で、電源を切ったり、HDDを外したりしないでください。HDDの故障の原因となります。
- ※本体をPCIに接続しDISK1およびDISK2のHDDをマイコンポータまたは「DISKの管理」でドライブ表示を見た場合、通常はDISK1がDISK2より若いドライブ表示がされます。例外は、DISK1がドライブ DISK2ドライブ 例えは、DISK1のHDDが先に認識されDISK1.Fドライブ DISK2.Fドライブと表示されることがあります。上記のどの場合であってもCOPYボタンでクローンHDDを作るのはコピー元はDISK1コピー先はDISK2です。

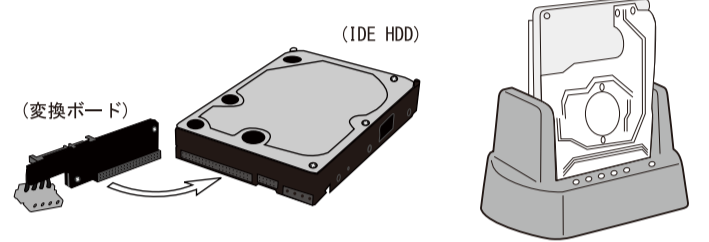
### ハードディスクの接続

コネクタの向きに気をつけて、静かにまっすぐ差し込みます。



ハードディスクのSATAコネクタと、本体のSATAコネクタの向きに気をつけて、ハードディスクドライブを上からまっすぐ差し込みます。

### 交換ボードの接続



コネクタの向きに気をつけて、矢印のようまっすぐ差し込みます。交換ボードをHDDに差し込んだ後は、コネクタの向きに気をつけて、静かにまっすぐ差し込みます。 ※交換ボードを差し込んだらHDDの向きが逆になります。

